

Ⅰ. 事業の基礎情報

事業名		受益者負担の適正化事業		担当部・グループ名	総務部 財務グループ						
総合計画（基本計画）体系	個別目標	(2) 将来を見据えた健全な財政運営を行います									
	こんなことに取り組みます	工業用地の創出、市税徴収力の強化、受益者負担の適正化など、財源の確保に努めるとともに、真に必要な事業を見極め、限りある財源のより効率的・効果的な活用に取り組みます。									
	みんなで目指すまちづくり指標名	経常収支比率									
		策定時の値	88.8	実績値	-	実績値	-	実績値	-	目標値	80%台
2017		2018		2019		2020		2021	維持	%	
総合戦略		<input type="checkbox"/> 該当する			<input checked="" type="checkbox"/> 該当しない			予算事業名	-		

Ⅱ. 目指す姿

このアクションプランによって実現したい目指すべき市の姿	☆公共施設使用料において、サービスを利用する方としない方との公平性が確保され、定期的に使用料を見直す仕組みができています。
-----------------------------	---

Ⅲ. 課題

目指す姿実現に向けた課題	①各公共施設の利用率の調査、施設別行政コスト計算書(原価)の作成、指定管理者との協議、使用料・手数料条例の一部改正(案)の作成など、改正に向けた諸手続きを進める必要がある。
--------------	--

【PLAN】

Ⅳ. 目指す姿の実現に向けた4年間の工程表・事業概要

事業年度	2018(平成30年度)	2019(平成31年度)	2020(平成32年度)	2021(平成33年度)	
事業計画	準備	関係グループへの説明			
	対外協議	指定管理者との協議			
	使用料改正	使用料の算定	議会上程 市民への周知	新使用料スタート	
		使用料・手数料条例改正(案)の作成			
	利用率調査の実施・まとめ			新使用料の検証	
事業費総額(千円)	(当初) 0	(見込) 0	(見込) 0	(見込) 0	
財源内訳	一般財源	0	0	0	
	特定財源	0	0	0	
特記事項					

【DO】

IIIと対応する課題	V. 上半期の進捗状況 目標達成のために掲げた「課題解決に向けた取り組み」とその進捗状況	
①	◆施設別利用率の調査を行う。	
状況	・利用率に加え、施設別決算額の調査をする準備を行っている。	
①	◆各施設所管グループへの説明と指定管理者との協議を行う。	
状況	・各施設所管グループへの説明を行い、指定管理者との協議を依頼した。	
①	◆使用料の改定案を作成する。	
状況	・平成31年3月までに、改定案が作成できるように準備を進めている。	



【CHECK】

IIIと対応する課題	VI. 上半期の取り組みから見えてきた課題 目指す姿実現に向け、これまでの取り組みから見えてきた課題	
①	・施設別利用率の調査に加え、施設別コストを把握する必要がある。	
①	・定期的な見直しのためには、誰もが理解しやすい算定方法をマニュアル化する必要がある。	
①	・計画的に改定案を作成する必要がある。	



【ACTION】

IIIと対応する課題	VII. 課題解決を踏まえた今後の具体的なアクション(案) いつ・何を・どのように・どうする	
①	平成30年度下半期	・9月に施設別の利用率及び決算額の調査を実施する。
	平成31年度	・9月に施設別の利用率及び決算額の調査を実施する。
	平成32年度	・9月に施設別の利用率及び決算額の調査を実施する。
①	平成30年度下半期	・10月までに、各施設所管グループと指定管理者が協議を行う。
	平成31年度	・次の改定に備え、下半期に使用料見直しマニュアルの作成に着手する。
	平成32年度	・3月までに「使用料見直しマニュアル」を完成する。
①	平成30年度下半期	・3月までに、使用料の改定案を作成する。
	平成31年度	・9月定例会に使用料・手数料条例の改定案を議会上程する。
	平成32年度	・4月から新しい料金体制をスタートする。
平成31年度 事業費予算	0千円	